

New and New 心房細動の抗凝固療法

Contents

心房細動における抗凝固療法 — 「温故知新」を振り返る 4

Chapter 1 リバーロキサバン

1 リバーロキサバンのアバウト	10
2 リバーロキサバンのバイオマーカー	18
3 エビデンスを学ぶ	24
4 注意すべき患者はいるか：サブグループ分析から	33
5 使い方のコツ	39
6 リバーロキサバンが切り開いた世界	42
コラム リバーロキサバンと併用薬 大規模臨床試験の読み方を学ぶ	17 32

Chapter 2 アピキサバン

1 アピキサバンのアバウト	48
2 アピキサバンのバイオマーカー	56
3 エビデンスを学ぶ	60
4 注意すべき患者はいるか：サブグループ分析から	68
5 使い方のコツ	75
6 アピキサバンが切り開いた世界	78
コラム 消化管から分泌される薬剤 AVERROES試験 ARISTOTLE試験の用量設定	55 65 66

Chapter 3 エドキサバン

1 エドキサバンのアバウト	82
2 エドキサバンのバイオマーカー	90
3 エビデンスを学ぶ	94
4 注意すべき患者はいるか：サブグループ分析から	107
5 使い方のコツ	112
6 エドキサバンが切り開いた世界	116
コラム 分布容積 エドキサバン低用量群の存在意義は… 質の高さを示したENGAGE AF-TIMI 48試験	89 105 106

Chapter 4 ワルファリンとNOACを俯瞰する

1 ワルファリンとNOACを俯瞰する	120
--------------------	-----

Chapter 5 私のNOACに対する考え方

1 個人差をマネジメントするということ（1）	126
2 個人差をマネジメントするということ（2）	130
3 NOAC リスクマーカーとしてのクレアチニンクリアランス： 弾を撃つときの環境をどう把握するか？	136
4 抗凝固薬選択の考え方：弾をどう選ぶか？	141
コラム 大出血から見たCcr.とNOACの相性 弾を撃った後のチェックをどうするか	149 150

あとがきに代えて 152

- KeyMessage 集 155
- 索引・図表・文献 165

1

ワルファリンとNOACを俯瞰する

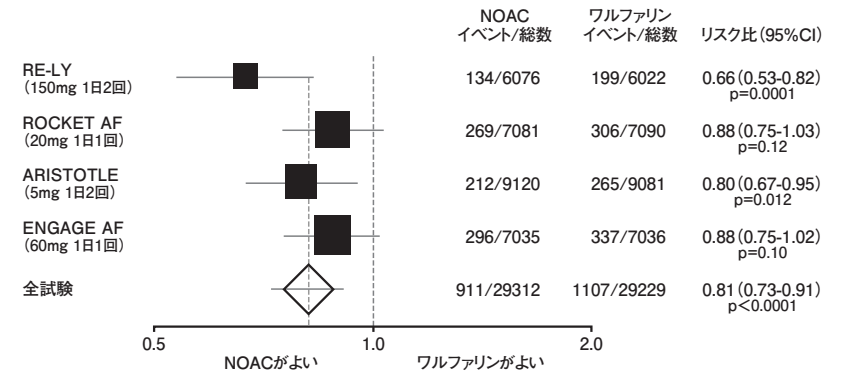
前著ならびに本書では、ワルファリン、ダビガトラン、リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンと、それぞれの薬物についてある意味でマニアックと思われるくらいの細かいところまで踏み込んで記してきました。細部に目が行き過ぎると、ときに全体像が見えにくくなってしまいます。「木を見て、森を見ず」です。

そこで、この章では、もう少し距離をおいて、少し離れた視点からワルファリンとNOACを眺めてみましょう。それぞれのNOACを用いたRE-LY試験、ROCKET AF試験、ARISTOTLE試験、ENGAGE AF試験は、いずれもこれまでにない患者数を含んだ大規模の臨床試験です。すべての試験の登録患者数を合算すると、71,683例にもなります。この患者数は、全体像をより包括的に把握するのに適しているでしょう。そして、これらすべての患者を含んだメタアナリシスが発表されました。このメタアナリシスを見れば、NOACがどのようなものであるか、感覚的に理解できると思います。

● KeyMessage

NOACに関する大規模臨床試験をすべて含むと
7万例以上もの患者数になる。

大規模臨床試験のうち、ダビガトランとエドキサバンは2用量が設定されています。そこで、このメタアナリシスではこの2薬剤については標準用量とされた高用量をとりあげ、リバーロキサバン、アピキサバンと合わせて解析することとしています。では、有効性（脳卒中・全身性塞栓症の抑制）を見てみましょう。



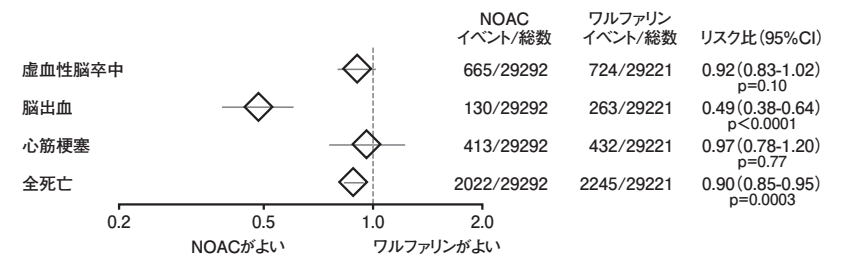
Lancet. 2013 Dec 4. [Epub] 40)

各試験のheterogeneity（統計学的異質性）についてはp=0.13と有意ではなく、NOACはワルファリンに比較して、脳卒中・全身性塞栓症を約20%有意に減少させ、各薬物に関して大きな違いはないということになります。

● KeyMessage

NOACはワルファリンと比較して、
脳卒中・全身性塞栓症を約20%減少させる。

では、次にその内訳を見てみることにします。NOACの有効性は同等として、すべての薬物に関する結果を結合しています。



Lancet. 2013 Dec 4. [Epub] 40)より改変